

第4期八千代市生涯学習推進計画

(素 案)

計画期間：令和7年度～令和12年度

令和7年 月



八千代市教育委員会

目 次

第1章 計画策定に当たっての背景

1	計画策定の趣旨	1
2	計画の位置付け	2
3	計画の対象期間	3
4	生涯学習を取り巻く状況	4
(1)	国の動向	4
(2)	県の動向	4
(3)	本市の取組について	5

第2章 計画の基本的な考え方

1	基本理念	6
2	基本目標及び基本方針	6
3	施策体系	8
4	計画の進行管理	9

第3章 計画の具体的な取組

1	市民の学びの支援	10
2	学びを通じた交流と成果の還元	19
3	市民の学びの環境整備	27
4	地域社会と連携した教育の支援	33

第1章 計画策定に当たっての背景

1 計画策定の趣旨

近年、少子高齢化や核家族化の進展とともに、地域コミュニティにおける交流の希薄化が進むなど、社会環境が変化し、一方で、新型コロナウイルス感染症の感染拡大や世界情勢の不安定化など、予測が困難な時代となっています。こうした中、インターネットやソーシャルネットワークサービス(SNS)の普及等による情報化社会の進展等により、ライフスタイルが劇的に変化し、生涯学習のニーズは、複雑化・高度化しています。これらに対応し、誰もが生涯にわたり学び続けることができ、学んだことを生かし、活躍できる生涯学習社会を実現することが重要です。

国の方針としましては、第11期中央教育審議会生涯学習分科会において生涯学習及び社会教育の現状や果たしうる役割、振興方策等が議論され、令和5年6月に『第4期教育振興基本計画』閣議決定され、生涯学習及び社会教育の目標も示されました。

千葉県では、県民一人一人が、いつでも、どこでも学ぶことができ、その成果を生かし、生涯にわたり活躍し続けられる社会の実現を図るため、生涯学習を推進するための方針を定める『千葉県生涯学習推進方針』を令和5年5月に策定しました。

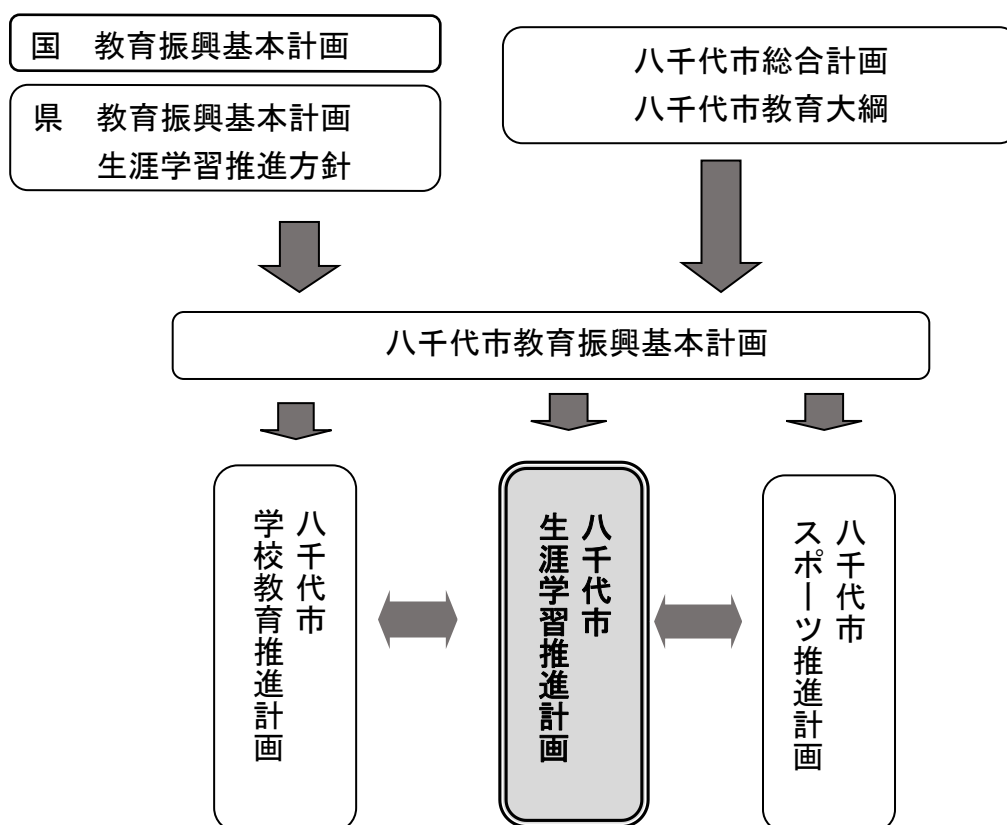
本市では、生涯学習に関する施策を総合的・効果的に推進するための指針である「第3期八千代市生涯学習推進計画」が本年度で計画期間が満了することに伴い、次期計画として「第4期八千代市生涯学習推進計画」を策定するものです。

市民一人ひとりが、身近な場所で、学習活動に取り組むことができる機会の充実に努めるほか、学習の成果が広く生かせる仕組みを構築するとともに、情報提供や施設整備など、学習支援体制の充実に努めることで、学びを通じた市民相互の交流活動や得られた知識を地域社会に還元できる生涯学習を推進します。

「第4期八千代市生涯学習推進計画」は、本市の教育の基本目標及び施策の方向性等を示す「八千代市教育振興基本計画」を上位計画とし、生涯学習に関する施策を総合的・効果的に推進するための方針を示すものであり、また、社会情勢の変化及び生涯学習を取り巻く現状と課題を踏まえ、令和7年度から令和12年度までの6年間について、具体的な施策の実現を図るための計画であります。

2 計画の位置付け

この計画は、本市の最上位計画に当たる八千代市第5次総合計画に即し、教育基本法第17条第2項の規定に基づく、本市の教育の基本目標及び施策の方向性等を示す「八千代市教育振興基本計画」における生涯学習部門を担う個別計画として位置づけるものです。



3 計画の対象期間

計画期間は、八千代市教育振興基本計画等の教育委員会内の計画期間との整合を図り、令和7年度(2025)から令和12年度(2031)までの6年間とします。

なお、計画期間内であっても社会情勢や市民の生涯学習ニーズの変化等へ対応するため、必要に応じて見直すものとします。

	令和3 (2021)	令和4 (2022)	令和5 (2023)	令和6 (2024)	令和7 (2025)	令和8 (2026)	令和9 (2027)	令和10 (2028)	令和11 (2029)	令和12 (2030)	
国 教育振興基本計画	国 第3期教育振興基本計画 【H30～R4年度】		国 第4期教育振興基本計画 【令和5年度～令和9年度】 令和5年6月16日閣議決定								
千葉県 教育振興基本計画	第3期千葉県教育振興基本計画 次世代へ光り輝く「教育立県ちば」プラン 【令和2年度～令和6年度】				第4期千葉県教育振興基本計画 【令和7年度～令和11年度】						
八千代市 総合計画基本構想	八千代市第5次総合計画 基本構想 【令和3年度～令和10年度】										
八千代市 総合計画基本計画	八千代市第5次総合計画 前期基本計画 【令和3年度～令和6年度】				八千代市第5次総合計画 後期基本計画 【令和7年度～令和10年度】						
八千代市 教育振興基本計画	第2期 【～令和3年度】	第3期八千代市教育振興基本計画 【令和4年度～令和6年度】			第4期八千代市教育振興基本計画 【令和7年度～令和12年度】						
八千代市 学校教育推進計画		八千代市学校教育推進計画 【令和4年度～令和6年度】			第2期八千代市学校教育推進計画 【令和7年度～令和12年度】						
八千代市 生涯学習推進計画	第3期八千代市生涯学習推進計画 【令和3年度～令和6年度】				第4期八千代市生涯学習推進計画 【令和7年度～令和12年度】						
八千代市 スポーツ推進計画	第2期八千代市スポーツ推進計画 【令和3年度～令和6年度】				第3期八千代市スポーツ推進計画 【令和7年度～令和12年度】						

4 生涯学習を取り巻く状況

(1) 国の動向

令和4年(2022年)8月の中央教育審議会生涯学習分科会における『第11期中央教育審議会生涯学習分科会における議論の整理～全ての人のウェルビーイング※を実現する、共に学び支えあう生涯学習・社会教育に向けて～』では、今後の生涯学習・社会教育の振興方策として、「公民館等の社会教育施設機能強化, デジタル社会への対応」, 「社会教育人材の養成、活躍機会の拡充」, 「地域と学校の連携・協働の推進」, 「リカレント教育の推進」, 「多様な障害に対応した生涯学習の推進」が示されました。

また、令和5年6月には『第4期教育振興基本計画』が閣議決定されました。この計画では、2040年度以降の社会を見据えた「持続可能な社会の創り手の育成」と「日本社会に根差したウェルビーイングの向上」をコンセプトとして掲げ、5つの基本的方針と16の教育政策の目標、基本施策及び指標を示しています。生涯学習・社会教育に関連する目標として「生涯学び、活躍できる環境整備」, 「学校・家庭・地域の連携・協働の推進」, 「地域コミュニティの基盤を支える社会教育の推進」が掲げられています。

※ウェルビーイング

- 身体的・精神的・社会的に良い状態にあること。短期的な幸福のみならず、生きがいや人生の意義などの将来にわたる持続的な幸福を含む概念。
- 多様な個人がそれぞれ幸せや生きがいを感じるとともに、個人を取り巻く場や地域、社会が幸せや豊かさを感じられる良い状態にあることも含む包括的な概念

(2) 県の動向

千葉県では、「千葉県総合計画」及び「千葉県教育振興基本計画」の趣旨を踏まえ、令和5年5月に『千葉県生涯学習推進方針』を策定し、人生100年時代・Society5.0※の到来、社会的包摂の必要性の高まりなど、生涯学習をめぐる環境が大きく変化する中で「社会とつながる生涯学習」～いつでも、どこでも、誰でも学ぶことができ、その成果を生かして活躍できる生涯学習社会の実現～を生涯学習推進の目標としています。

「多様な学習機会の充実」, 「学習に関する情報提供・相談の充実」, 「学習成果を社会に生かす仕組みづくり」, 「多様な主体との連携・協働の推進」を推進の4つの柱とし、それぞれにおいて県・市町村・民間に期待される役割を位置づけ、新しい時代に合った生涯学習社会の実現を目指しています。

※Society5.0

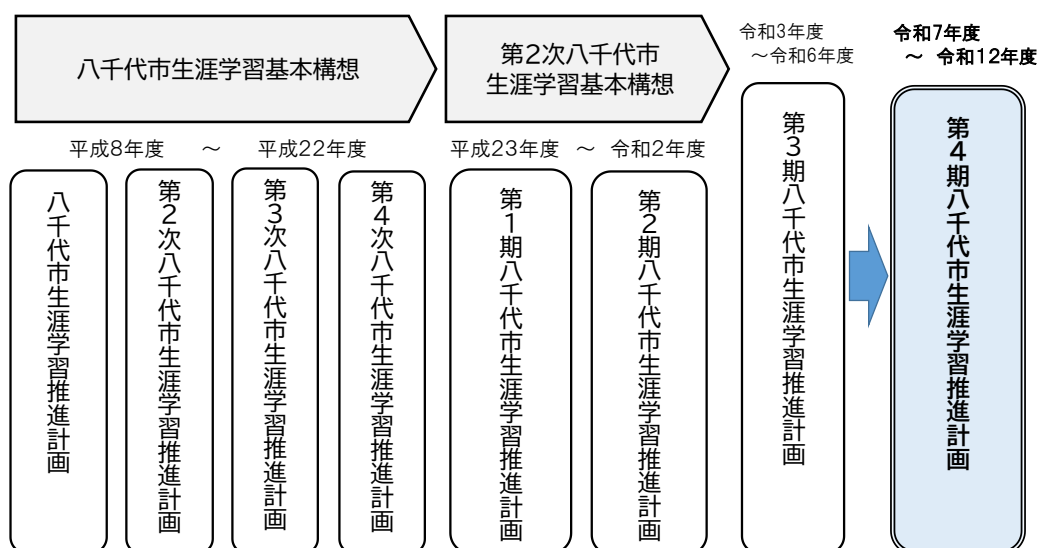
サイバー空間（仮想空間）とフィジカル空間（現実空間）を高度に融合させたシステムにより，経済発展と社会的課題の解決を両立する，人間中心の社会。すべての人とモノがつながり，様々な知識や情報の共有，新たな価値の創出につながるIoT（Internet of Things），必要な情報が必要な時に提供される人工知能（AI），ロボットや自動走行車などの技術で様々な課題や困難が克服される。

(3) 本市の取組について

本市では，これまで生涯学習に関する施策を総合的に推進していく指針として，平成7年3月に「八千代市生涯学習基本構想」（以下「基本構想」という。）を策定し，その後，基本構想に基づき，「生涯学習推進計画（計画期間：平成8年度～平成13年度）」，「第2次八千代市生涯学習推進計画（計画期間：平成14年度～平成16年度）」，「第3次生涯学習推進計画（計画期間：平成17年度～平成19年度）」，「第4次生涯学習推進計画（計画期間：平成20年度～平成22年度）」を作成しました。

平成22年10月には，基本構想の策定から15年が経過したことや社会情勢の変化に加え，教育基本法（平成18年法律第120号）において生涯学習の理念が明文化されたことに伴い，新たな課題に的確に対応するため「第2次基本構想（計画期間：平成23年度～平成32年度（令和2年度）」を策定し，それに基づく「第1期生涯学習推進計画（計画期間：平成23年度～平成27年度）」・「第2期生涯学習推進計画（計画期間：平成28年度～令和2年度）」を策定し，施策の取組みを推進しました。

第2次八千代市生涯学習基本構想の終了後は，計画のスリム化等の観点から，新たに構想の策定は行わず，基本構想で定めていた「基本理念」・「基本目標」・「基本方針」を位置付け，生涯学習推進の基本的な考え方などを継承した形で「第3期八千代市生涯学習推進計画」（計画期間：令和3年度～令和6年度）」を策定しました。



第2章 計画の基本的な考え方

1 基本理念

生涯学習に対するニーズが多様化かつ高度化する中、市民一人ひとりがその生涯にわたって学び、必要とする様々な能力を身に付け、その成果を活かし合うことで学びを通じた交流が広がっていくことが期待されます。

また、誰一人取り残さない生涯学習社会の実現に向け、多様性(ダイバーシティ)と包摂性(インクルージョン)の観点に基づき、全ての人の人権が尊重される社会の形成をめざします。

これらを踏まえ、「第3期八千代市生涯学習推進計画」での基本理念を引き続き掲げます。

基 本 理 念

一人ひとりが学びを深め、互いに成果を活かし合い、共に生きるまち八千代

2 基本目標及び基本方針

基本理念の実現に向けて4つの基本目標を定めます。また、それぞれの目標ごとの基本方針に基づき各施策の推進を図ります。

【基本目標 1】 市民の学びの支援

■基本方針

1-1 市民のニーズに対応した学習機会の提供

- ・市民が必要な知識を得られるよう、学習機会の充実を図ります。
- ・大学や企業などと連携し、市民の学習機会の充実を図ります。

【基本目標 2】 学びを通じた交流と成果の還元

■基本方針

2-1 学習成果を活用した交流の支援

- ・学習の成果が広く活かせる仕組みづくりとともに、学びを通じた交流活動を支援します。

2-2 団体活動の支援と学習成果の地域還元促進

- ・団体活動の機会の拡充や情報提供などの支援により、学習成果の地域還元を促進します。

2-3 人材の育成・確保・活用の体制整備

- ・地域で活動するリーダーやボランティアなどの人材育成を推進します。
- ・ボランティアを中心とした人材の活用制度について十分な周知に努め、ボランティアを求める需要者と適切にコーディネートする体制の整備を図ります。

【基本目標3】 市民の学びの環境整備

■基本方針

3-1 生涯学習関係施設の整備・充実

- ・生涯学習関係施設の適切な維持管理を図るとともに、市民のライフスタイルの多様化に合わせた利用方法の改善など利便性の向上を図ります。

3-2 情報提供の充実

- ・本市のホームページや生涯学習情報提供システム「まなびネットやちよ」、広報紙のほか、SNSなどを積極的に活用し、市民が必要とする情報を得やすい環境を整備します。
- ・関係部署と連携し情報の共有化を図った上で、市民の求める情報を適切に提供する学習相談を行います。

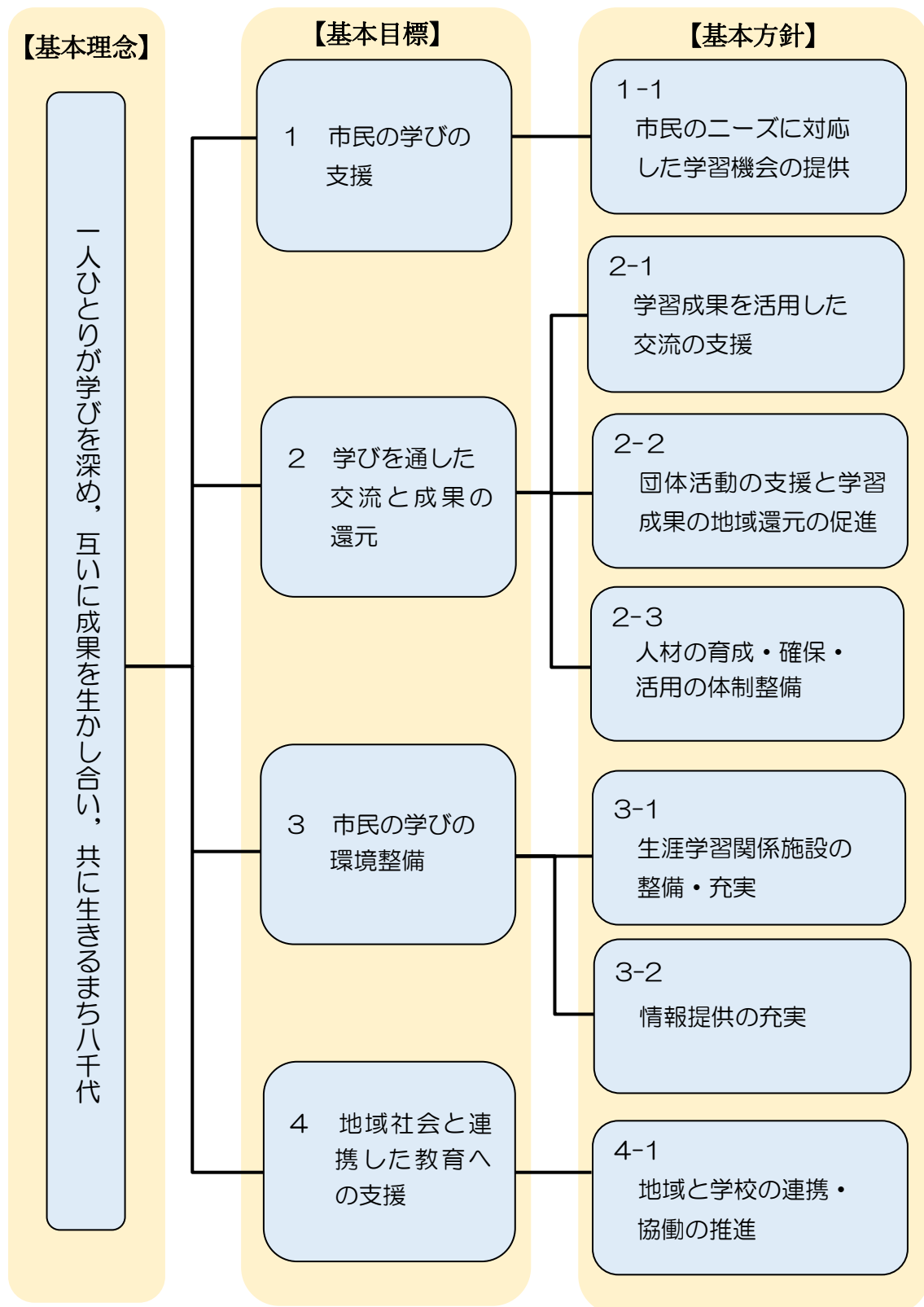
【基本目標4】 地域社会と連携した教育の支援

■基本方針

4-1 地域と学校の連携・協働の推進

- ・地域と学校が連携・協働する体制を整備し、子供たちの学びを充実させるとともに地域づくりを推進します。

3 施策体系



4 計画の進行管理

本計画の進行管理につきましては、各施策が着実かつ効率的に取り組まれているかを毎年度、進捗状況の点検・確認を行います。

計画の進捗状況を八千代市生涯学習審議会において審議し、ホームページ等にて公表します。

第3章 計画の具体的な取組

基本目標 1 市民の学びの支援

【現状と課題】

- 市民一人ひとりの必要な知識が得られるよう、総合生涯学習プラザや公民館、図書館等の社会教育施設の他、市の各部署が行う講座などにおいて、学習機会の提供に努めていますが、年代や地域によってもニーズが異なるため、様々な分野で学習機会の充実を図っていく必要があります。
- 市民の高度化する学習ニーズに応えるため、関係機関をはじめ、家庭、地域、企業等と相互に連携する仕組みづくりなど課題があり、学習情報の共有や市民が参加できる公開講座の開催などの取組が必要です。
- 生涯学習に関する市民アンケート調査で、「あなたは、現在どのような生涯学習活動を行っていますか。」に対する回答のうち「特に行っていない」と回答した方が最も多く、約26%を占めており、より多くの市民が学習できる環境づくりが必要です。
- 生涯学習に関する市民アンケート調査では、「あなたは、どのような場所や形態で生涯学習活動を行っていますか。」に対する回答では、「パソコン・タブレット等によるインターネットを活用した学習」と回答した方が最も多く、生涯学習においても情報化・デジタル化が進んでいます。その一方でオンライン講座等の作成について、市の職員が持つ専門的な知識やノウハウが不足しているが課題となっています。

基本方針

1-1 市民のニーズに対応した学習機会の提供

◆市民一人ひとりの必要な知識が得られるよう、学習機会の充実に努めます。

◎具体的な取組

【継続】

1-1-①	まちづくりふれあい講座の充実	
推進部署	生涯学習振興課・市各部局	
具体的な取組の概要		
市民のグループを対象に、市職員が市の事業や施策について出前講座を実施する。 また、新たな講座の追加や実施期間の拡充などを担当部署に働きかけるとともに、広報活動を推進します。 〈実施する講座例〉 八千代市の財政状況、市税のはなし、やちよの自然発見 等		
■成果指標（計画目標）	現況値（R5年度末）	目標値（R12年度末）
まちづくりふれあい講座の受講者数	4,682人	7,700人

【継続】

1-1-②	家庭教育の支援の充実
推進部署	生涯学習振興課，公民館
具体的な取組の概要	
(1)子育てや，しつけ等家庭教育のあり方を学ぶ機会として，家庭教育講演会を開催し，家庭教育を支援します。	
〈実施する事業例〉	
保護者のための子育て講座，親学講座 等	
(2)家庭教育のあり方の学習や，保護者同士の交流の機会として，家庭教育事業を推進し，学習機会の充実を図ります。	
〈実施する事業例〉	
1 歳児親子学級，親のための思春期講座 等	

【継続】

1-1-③	生涯学習関連施設の主催講座の充実	
推進部署	生涯学習振興課，公民館，図書館，郷土博物館	
具体的な取組の概要		
各施設において多様なニーズに対応した様々な講座を実施します。		
(1)総合生涯学習プラザ		
スポーツイベントや文化・歴史など幅広い分野の講座を実施し，ボランティア講師を活用することにより人材交流の活性化を図ります。		
〈実施する事業例〉		
子ども書初め講座，歴史講座，スポーツに関する講座・イベント等		
(2)公民館，東南公共センター		
子どもから高齢者まで，幅広い世代を対象とした各種の講座・イベントを開催します。また，関係機関等と連携し，多様な学習機会の提供に努めます。		
〈実施する事業例〉		
夏休み子ども向け教室，高齢者学級 等		
(3)図書館		
図書資料，インターネットを活用した講座や親子で参加できるイベントのほか，児童対象のおはなし会や講座等を充実させるとともに，図書館見学，職場体験学習など学校と連携した活動を推進し，読書普及活動の充実を図ります。		
〈実施する事業例〉		
おはなし会，工作会 等		
(3)郷土博物館		
市民のニーズに応えられるよう，講座や講演会等を充実させます。		
〈実施する事業例〉		
古文書講座，自然観察会，文化財散歩 等		
■成果指標（計画目標）		現況値（R5年度末）
郷土博物館の講座参加者数		目標値（R12年度末）
		674人
		2,000人

【継続】

1-1-④	市内の教育機関との連携の促進
推進部署	生涯学習振興課
具体的な取組の概要	
大学の持つ高度な教育機能を地域に開放し、市民の生涯学習活動を推進するため、市内私立大学の秀明大学が開催する公開講座について、広報等の支援を行います。 〈実施する講座例〉 秀明大学の公開講座の広報・周知 等	

【継続】

1-1-⑤	デジタル・オンラインを活用した学びと情報の提供
推進部署	生涯学習振興課 【関係課】 総合生涯学習プラザ／公民館／図書館
具体的な取組の概要	
デジタル・オンラインを活用した講座等を提供することで、いつでもどこでも学習ができる環境を整備し、情報提供の充実に努めます。 また、高齢者向けのスマホ講座等を実施し、デジタルデバイドの解消に向けた取組を実施します。 〈実施する事業例〉 オンライン講座の提供、スマホ講座の実施、公民館における無線 LAN の整備の検討 等	

【継続】

1-1-⑥	子ども読書活動の推進
推進部署	図書館 【関係課】 子育て支援課／子ども保育課／生涯学習振興課／指導課
具体的な取組の概要	
満1歳までのお子さんがある家庭を対象に、図書館の窓口で絵本を贈るブックスタート事業をはじめとし、さまざまな読書の機会を提供し、子どもの読書活動を推進します。 〈実施する事業例〉 ブックスタート絵本の配布、読書環境の充実、絵本の読み聞かせ講座 等	

【継続】

1-1-⑦	レファレンスサービスの充実	
推進部署	図書館	
具体的な取組の概要		
市民の学びを支援するため、レファレンスサービスの周知を図るとともに、調べ方案内等の整備を行うほか、図書資料や電子資料、インターネットを活用したレファレンスを行います。		
〈実施する事業例〉		
課題解決資料の収集、調べ方案内のリーフレット作成・更新、学習支援 等		
■成果指標（計画目標）	現況値（R5年度末）	目標値（R12年度末）
年間レファレンス受付件数	7,433 件	16,500 件

【継続】

1-1-⑧	伝統文化・伝承文化の継承促進	
推進部署	文化伝承館	
具体的な取組の概要		
日本の伝統文化と八千代に残る伝承文化を学習・体験できる機会を提供し、次世代への継承を促進します。		
〈実施する事業例〉		
八千代伝承文化講座， 茶道入門講座， 日本舞踊体験， 子ども邦楽教室 等		
■成果指標（計画目標）	現況値（R5年度末）	目標値（R12年度末）
文化伝承館主催事業参加者数	674 人	3,600 人

【継続】

1-1-⑨	博学連携の推進	
推進部署	郷土博物館	
具体的な取組の概要		
学校対応メニューの開発，児童・生徒向けのワークシートの作成，歴史等を学ぶフィールドワークの実施を通して，博学連携を推進します。		
〈実施する事業例〉		
学校と連携した博物館利用促進，学校対応メニュー開発　等		
■成果指標（計画目標）	現況値（R5年度末）	目標値（R12年度末）
講師の依頼件数	44 件	50 件

【継続】

1-1-⑩	市民のニーズに対応した防災訓練の実施
推進部署	危機管理課
具体的な取組の概要	
地域の特性に応じた防災訓練を実施することで、市民の防災知識及び防災行動力を高めるとともに地域防災力の向上を図ります。 〈実施する訓練例〉 地震災害対応訓練，風水害対応訓練 等 ※年 70 回を目標に実施	

【継続】

1-1-⑪	消費者教育事業の推進	
推進部署	消費生活センター	
具体的な取組の概要		
市内の各種団体や学校等が開催する消費者教育講座に、消費生活専門相談員、消費生活アドバイザーや外部講師等を派遣し、消費者被害の減少を図るなど、被害の防止に向けた消費者意識の向上と自立支援を推進します。		
〈実施する事業例〉		
消費者問題出前講座・市 HP 等からの情報提供 等		
■成果指標（計画目標）	現況値（R5年度末）	目標値（R12年度末）
消費者問題出前講座の参加者数	0人	360人

【継続】

1-1-⑫	健康づくり学習事業の実施・支援
推進部署	健康づくり課
具体的な取組の概要	
生活習慣病の発症，重症化予防や，フレイル（虚弱）を予防するために，日々の運動習慣，食生活，口腔機能の維持，向上等に関する健康づくりを行うための講座や講演会を開催します。 〈実施する事業例〉 お試し体操広場，生活習慣病予防講演会 ※年 55 回実施予定	

【継続】

1-1-⑬	健康づくり学習事業の実施・支援
推進部署	母子保健課
具体的な取組の概要	
ライフステージにあった生活行動が取れるよう、「健康・食・歯」に関する知識や情報を提供します。 〈実施する事業例〉 夏休み食育教室，いい歯で歯っぴい講座 等 ※年 30 回を目標に実施	

【継続】

1-1-⑭	環境保全意識の普及・啓発
推進部署	環境政策課（ゼロカーボンシティ推進室）
具体的な取組の概要	
生物多様性及び自然環境の保全，地球温暖化対策が喫緊の課題となっていることから，さまざまな機会を通して環境保全意識の向上に努めるとともに，環境保全に関する啓発を行います。 〈実施する事業例〉 子ども環境教室，自然観察会 等	
■成果指標（計画目標）	
環境学習会の参加者数	現況値（R5年度末） 317人 目標値（R12年度末） 400人

【継続】

1-1-⑮	ごみの減量化・リサイクル推進等の啓発事業の実施
推進部署	クリーン推進課
具体的な取組の概要	
ごみの排出抑制や，減量化，再資源化を啓発するごみ減量学習会やまちづくりふれあい講座，リサイクルフェアを実施します。 〈実施する事業例〉 ごみ減量学習会，ごみ減量とリサイクル講座，リサイクルフェア 等	
■成果指標（計画目標）	
参加団体数	現況値（R5年度末） 自治会等 1 小学校 17 目標値（R12年度末） 自治会等 20 小学校 全校

【継続】

1-1-⑩	身近な消防啓発の充実		
推進部署	中央消防署，予防課　【関係課】東消防署		
具体的な取組の概要			
(1) 中央消防署 火の怖さ，消火に必要な知識と技術を学習させるとともに，消火器で火を消す技術を体験することにより，いざという時に「火を消せる」人材を育成します。 〈実施する事業例〉市民訓練施設等を利用した消火体験，煙中避難体験　等 防火意識の普及啓発のため，市民訓練施設を活用した消火・煙中避難体験や市内小学生を対象とした防火体験を実施します。 〈実施する事業例〉 市民訓練施設等を利用した消火体験，煙中避難体験　等			
(2) 予防課 火災予防思想の普及と火災による被害の軽減を図るため，住宅用火災警報器の設置普及とその維持管理や住宅防火対策について，八千代市に根ざした市民のニーズに応じた講習会等を開催します。 〈実施する事業例〉 住宅防火対策に関する講座			
■成果指標（計画目標）		現況値（R5年度末）	目標値（R12年度末）
市民訓練施設などの利用回数		107回	110回（22校含む）

【継続】

1-1-⑰	救命技術教育の推進	
推進部署	中央消防署　【関係課】東消防署，警防課	
具体的な取組の概要		
(1)中央消防署		
命の大切さを学ぶため，市内小中学生を対象に心肺蘇生法及び AED の取扱いなどの救命体験を実施します。		
〈実施する事業例〉		
市内小中学校児童・生徒への救命体験　等		
毎年，市内小中学校全校で実施を目標		
(2)警防課		
正しい応急手当の知識を習得してもらうため，A E Dの取扱いを含めた救命講習会の実施により，応急手当の普及啓発を図ります。		
〈実施する事業例〉		
普通救命講習（成人，小児，乳児）　等		
■成果指標（計画目標）		現況値（R 5 年度末）
救命体験年間受講者数		1,065 人
		目標値（R 12 年度末）
		増加

基本目標 2 学びを通じた交流と成果の還元

【現状と課題】

○令和6年4月1日現在、市内9公民館で、273サークル（会員数3,529人）が公民館登録サークルとして活動しており、また、高齢者学習グループやボランティア・市民活動推進センターに登録されている市民団体などにより様々な学習活動が行われています。

○学習成果を活用した交流の支援として、「公民館まつり」や「市民文化祭」等を開催し、学びを通じた地域交流の促進に努めておりますが、近年、公民館まつりも年々規模も縮小傾向にあり、新たな学習成果の発表をする場の検討が必要となっています。

○生涯学習に関するボランティア活動として、各分野において知識、技能を有する人材を登録し、その知識等を学びたい方に紹介する「生涯学習ボランティアバンク制度」及び「公民館ボランティア講師制度」などを中心に「教えたい人」と「学びたい人」を結びつけることにより、地域の学びの輪を広げる支援をしています。

○一方で、「生涯学習ボランティアバンク制度」及び「公民館ボランティア講師制度」の活用実績が低い傾向にあり、制度を推進するための周知方法等を検討する必要があります。また、講師の高齢化などにより登録者数の減少が課題として挙げられることから、若い世代へのPRも必要です。

○生涯学習に関する市民アンケート調査では、生涯学習活動で身につけた知識や技能の生かし方として、「自身の健康増進」や「家庭・日常生活のため」とする方が大半を占め、学びの成果を発表する場や学びを通じた交流活動は活発であるとは言い難く、地域への還元も低い傾向となっています。

○公民館登録サークル等は、会員の高齢化・固定化が進み、内容も硬直化しがちであり、学習活動自体が停滞するなどの課題があります。そのため、幅広い年代の市民が交流できるよう、引き続きサークル等への活動支援を行い、活力ある学習活動が継続されるようサポートするとともに、新しく学習活動をはじめめる人への支援を実施することが必要です。

○学んだ成果を地域に還元する仕組みづくりを推進し、学習の成果を自身のためだけではなく、地域に生かす環境づくりを行う必要があります。地域社会においては、人と人とのつながりの希薄化が進んでいることから、地域の学習の輪を広げる交流の場の提供など住民相互による学習を通して、つながりの意識や住民同士の絆の強化を目指す取り組みが必要です。

基本方針

2-1 学習成果を活用した交流の支援

- ◆学習の成果が広く生かせる仕組みを構築するとともに、学びを通じた交流活動について支援していきます。

◎具体的な取組

【継続】

2-1-①	サークルの学習成果の発表の場の検討・推進
推進部署	公民館
具体的な取組の概要	
サークルの減少及び会員の高齢化に伴い、公民館まつり以外においても、学習成果の発表の場について検討・実施し、地域との交流や生涯学習の啓発を行います。	
〈実施する事業例〉 公民館まつり、サークル体験・見学会 等	

【継続】

2-1-②	ニューリバーロードレース in 八千代の開催
推進部署	文化・スポーツ課
具体的な取組の概要	
市内外から多くのランナーを迎え、体力と健康の増進及び生涯スポーツ活動の推進を図るとともに、八千代市を広くPRするニューリバーロードレース in 八千代を、実行委員会、ボランティアと連携して開催します。	

【継続】

2-1-③	ふれあい大学校の充実	
推進部署	長寿支援課 【関係課】生涯学習振興課	
具体的な取組の概要		
高齢者が自ら生きがいを求め、仲間をつくりながら生涯にわたって充実した生活を営むことを目的に実施しているふれあい大学校の充実を図ります。		
〈実施する事業例〉		
講義（社会福祉・健康管理） 等		
■成果指標（計画目標）		現況値（R5年度末）
ふれあい大学校への応募人数		目標値（R12年度末）
63人		100人

【継続】

2-1-④	放課後子ども教室の推進	
推進部署	子育て支援課	
具体的な取組の概要		
小学校の余裕教室等を活用し、全ての児童を対象として、安全・安心な子どもの活動拠点（居場所）を設け、地域住民の参画を得ながら、勉強やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動等の機会を提供するため順次開設します。 〈実施する事業例〉 放課後子ども教室の実施及び実施校拡充の協議・検討 等		
■成果指標（計画目標）		現況値（R5年度末）
放課後子ども教室の実施校数		9校
		目標値（R12年度末）
		市内小学校全校

基本方針

2-2 団体活動の支援と学習成果の地域還元への促進

- ◆活動機会拡充の支援や情報提供など、団体の活動の支援を図ることにより、学習成果が地域に還元されるように取り組みます。

◎具体的な取組

【継続】

2-2-①	ふれあい教室の充実	
推進部署	生涯学習振興課	
具体的な取組の概要		
ボランティア指導者が物づくりや昔遊び等を通して、知恵や技能を若い世代に伝え、交流を深めるふれあい教室の充実を図るための支援を行います。		
〈実施する事業例〉 折り紙教室、昔遊び 等		
■成果指標（計画目標）	現況値（R5年度末）	目標値（R12年度末）
ふれあい教室開催回数	52回	80回

2-2-②	高齢者学習グループの支援
推進部署	生涯学習振興課
具体的な取組の概要	
八千代市に在住する 20 人以上の高齢者（60 歳以上）で構成された学習グループに対して、公共施設の減額措置や学習情報の提供を行い、学習への支援を実施します。	
〈実施する事業例〉	
総合生涯学習プラザ，八千代台東南公共センターホール，緑が丘公民館集会ホールの使用料の減額（半額免除）の実施 等	

【継続】

2-2-③	青少年学校外活動支援事業の推進
推進部署	生涯学習振興課
具体的な取組の概要	
青少年の健全育成を図るため、土曜日などの学校休業日に、体験活動の機会を提供する地域組織を支援します。 〈実施する事業例〉 地域組織との連絡調整、レクリエーション研修会、安全管理講習会 等	

【新規】

2-2-④	社会福祉協議会との連携したボランティア及び地域活動の推進
推進部署	生涯学習振興課、福祉総合相談課
具体的な取組の概要	
社会福祉協議会の活動と連携し、地域ボランティアの育成・活動支援や地域連携の推進を図ります。 〈実施する事業例〉 「八千代市ボランティア・市民活動推進センター」との情報連携 学校運営協議会・地域学校協働本部と社会福祉協議会支会との活動連携	

基本方針

2-3 人材の育成・確保・活用の体制整備

- ◆地域で活動するリーダーやボランティアなどの人材育成を推進します。
- ◆ボランティアを中心とした人材の活用制度について十分な周知に努め、ボランティアを求める需要者と適切にコーディネートする体制の整備を図ります。

◎具体的な取組

【継続】

2-3-①	生涯学習ボランティアバンク制度の活用の推進	
推進部署	生涯学習振興課，公民館	
具体的な取組の概要		
各分野において知識・技能及び技術を有する人材を登録し，その知識等を学びたい人に紹介することによって市民相互の生涯学習活動を支援し，生涯学習社会の実現を図ります。 教えたい人と学びたい人をつなぐ「生涯学習ボランティアバンク制度」及び「公民館ボランティア講師制度」の内容を充実させるとともに，市民の積極的な活用を推進します。 〈実施する事業例〉 生涯学習ボランティアバンク制度及び公民館ボランティア講師制度の周知・啓発，人材登録・派遣 等		
■成果指標（計画目標）		現況値（R5年度末）
生涯学習ボランティアバンク制度の登録者数		26人
生涯学習ボランティアバンク制度を活用した講座の実施件数		6件
公民館ボランティア講師制度の登録者数		27人
公民館ボランティア講師制度を活用した講座の実施件数		9件

【継続】

2-3-②	青少年団体指導者養成講座（友・遊・カレッジ）の実施	
推進部署	生涯学習振興課	
具体的な取組の概要		
青少年活動に関わる人たちが地域社会活動に必要な基礎的知識や技術を身につけ、指導者として活動できるよう青少年団体指導者養成講座「友・遊・カレッジ」を実施します。		
〈実施する事業例〉		
青少年育成講演会、野外活動実習 等		
■成果指標（計画目標）	現況値（R5年度末）	目標値（R12年度末）
青少年団体指導者養成講座（友・遊・カレッジ）の受講者数	56人	60人

【継続】

2-3-③	バラの植栽管理講習会の実施
推進部署	公園緑地課（バラのまちづくり庁内委員会事務局）、生涯学習振興課
具体的な取組の概要	
バラの植栽管理講習会を開催し、公共施設等のバラの管理が担えるボランティアの育成を行います。また、受講生の中から地域のリーダーとなるような人材の発掘に努めます。	
〈実施する事業例〉	
バラの植栽管理講習会、バロボランティアの育成 等	

【継続】

2-3-④	やちよ元気体操応援隊の養成と活動支援		
推進部署	健康づくり課		
具体的な取組の概要			
住民主体の健康づくり活動を推進するため、やちよ元気体操応援隊を養成し応援隊が実施する体操グループを支援します。			
〈実施する事業例〉			
やちよ元気体操応援隊養成講座 等			
■成果指標（計画目標）		現況値（R5年度末）	目標値（R12年度末）
やちよ元気体操応援隊が実施する体操グループ数		86 グループ	98 グループ

【継続】

2-3-⑤	農業ボランティア推進事業の充実
推進部署	農政課(やちよ農業交流センター)
具体的な取組の概要	
都市住民と農業者の交流を図りながら、農業に関心のある都市住民を対象に農業ボランティアとして養成し、援農システムを拡充します。	
〈実施する事業例〉	
農業ボランティア推進事業の在り方の検討、	
農業ボランティア養成講座、	
ボランティア認証者と受入農家との連絡調整 等	

【継続】

2-3-⑥	里山整備ボランティアの育成	
推進部署	環境政策課（ゼロカーボンシティ推進室）	
具体的な取組の概要		
「第3次環境保全計画」に基づき、里山楽校を開催し、里山整備ボランティアを育成します。		
〈実施する事業例〉		
里山整備ボランティア人材育成講座、里山学習会 等		
■成果指標（計画目標）	現況値（R5年度末）	目標値（R12年度末）
里山楽校（里山整備ボランティア人材育成講座）の参加者数	160人	240人

基本目標３ 市民の学びの環境整備

【現状と課題】

○本市の生涯学習関係施設としては、総合生涯学習プラザをはじめ、公民館（９館）、図書館（５館）、郷土博物館、市民体育館、市民会館等、市内の各地域に配置され、生涯学習活動の拠点として重要な役割を果たしています。また、学校体育施設の開放などといった施設の提供も行っています。

○市ホームページ、生涯学習情報提供システム「まなびネットやちよ」、広報やちよ、やちよ情報メール等により生涯学習の講座情報や団体情報など各種学習関連情報を発信しています。また、窓口や電話等の相談による情報提供があります。

○市民満足度調査では、「生涯学習情報が得られやすいと感じている」と回答した市民の割合が約 16%で年々減少傾向にあり、生涯学習に関する市民アンケートの結果では、生涯学習情報提供システム「まなびネットやちよ」があまり活用されていない結果となりました。

○公民館や図書館など多くの生涯学習関係施設は、昭和 40 年代～平成元年にかけて整備されており、建物や設備の老朽化が進んでいることが課題です。近年は修繕箇所が多くなっており、今後も改修・更新等に多額の費用が必要となります。一方、人口減少・少子高齢化の進行による税収の減少などが見込まれる中、改修・更新等に係る財源の確保は更に困難になることが予測されます。

○本市では、未来を見据えた最適な公共サービスを目指すため、平成 27 年に「八千代市公共施設等総合管理計画」を策定し、公共サービス・施設等の規模の適正化、公共施設等の効率的な施設管理及び有効活用の 3 原則に基づく公共施設等の全体最適化を推進しており、また、令和 3 年には「八千代市公共施設等個別施設計画」が策定され、将来にわたり真に必要な公共サービスを安心・安全な公共施設等で提供し続けていくため、施設ごとの今後の方向性等が定められることから、当計画と整合を図り、生涯学習関係施設の整備・充実に努める必要があります。

○施設の老朽化以外の課題として、生涯学習関係施設をより利用しやすくするため、市民のライフスタイルの多様化にも合わせ、機能や役割について見直しを行い、管理手法や利用方法の改善に努めるとともに、地域の課題や生涯学習ニーズなどを施設運営に効果的に反映できるような仕組みづくりが必要です。

○市民満足度調査（意識調査）や生涯学習に関するアンケート調査の結果を見ると，市が発信している生涯学習の情報が市民へ十分に行き届いていないと考えられます。既存の情報媒体以外にも，より効果的かつ身近な場所で生涯学習情報を得られる環境整備について検討する必要があり，市民のライフスタイルの多様化にも合わせた生涯学習情報を的確に提供する必要があります。

基本方針

3-1 生涯学習関係施設の整備・充実

- ◆生涯学習関係施設の機能や役割について見直しなどを行うとともに、市民のライフスタイルの多様化に合わせた利用方法等の改善に努め、利便性の向上を図ります。

◎具体的な取組

【継続】

3-1-①	生涯学習関係施設の整備・改善
推進部署	生涯学習振興課 【関係課】総合生涯学習プラザ／公民館／図書館／八千代台東南公共センター
具体的な取組の概要	
生涯学習関係施設の機能や役割について見直しなどを行うとともに、市民のライフスタイルの多様化に合わせた利用方法等の改善に努め、利便性の向上を図ります。 また、施設を安心・安全に利用できるように不具合箇所の修繕等、適切な維持管理を実施します。 〈実施する事業例〉 生涯学習関係施設の整備・充実・見直し、施設利用方法の改善、施設の点検・修繕、公民館への指定管理者制度の導入の検討 等	

【継続】

3-1-②	郷土博物館展示事業
推進部署	郷土博物館
具体的な取組の概要	
常設展のリニューアルを検討・計画し、展示内容を充実させます。 〈実施する事業例〉 考古・歴史・民俗・産業・自然の常設展開催	

基本方針

3-2 情報提供の充実

- ◆市ホームページ, 生涯学習情報提供システム「まなびネットやちよ」, 広報紙のほか, SNS等を積極的に活用し, 情報提供の充実に努めます。
- ◆関係部署と連携し情報の共有化を図った上で, 市民の求める情報を適切に 提供する学習相談を行います。

◎具体的な取組

【継続】

3-2-①	生涯学習情報提供システムの充実	
推進部署	生涯学習振興課（総合生涯学習プラザ）	
具体的な取組の概要		
生涯学習情報提供システム「まなびネットやちよ」の情報の掲載内容を充実させ, 様々な情報の需要に応えます。 また, まなびネットやちよへの認知度を向上させるため, サイトの周知やアクセスのしやすさを向上させるための改善等を実施します。 〈実施する事業例〉 生涯学習情報提供システム「まなびネットやちよ」の充実・周知・啓発, 他の生涯学習情報サイトとの連携等		

【継続】

3-2-②	情報提供による学習の向上	
推進部署	生涯学習振興課（総合生涯学習プラザ），公民館，図書館	
具体的な取組の概要		
(1) 総合生涯学習プラザ 市民が生涯学習を始めるきっかけをつかめるよう，また，より広く，深く学べるよう情報を提供しながらサポートします。 〈実施する事業例〉 パンフレット配布・パネル展示による情報発信，相談窓口・閲覧用パソコンの設置 等		
(2) 公民館 市民の学習相談に的確に対応できるよう，生涯学習関係機関と情報の共有を図るとともに，市民が気軽に相談できる雰囲気づくりを行っていく等，学習相談窓口を充実します。 〈実施する事業例〉 パンフレット配布・パネル展示による情報発信，相談窓口の設置 等		
(3) 図書館 資料の充実を図り，資料提供，情報提供を通して，市民の日常的な読書から調査・研究までの生涯学習活動を支援し，暮らしと仕事に役立つサービスを充実させます。また，ホームページ等を活用した情報発信を行うことで，利用の拡大に努めます。さらに，非来館型サービスである電子図書館を充実させ，市民が活用できるよう周知に努めます。 〈実施する事業例〉 資料収集・提供，団体貸出 等		
■成果指標（計画目標）		
生涯学習情報が得られやすいと感じている市民の割合	現況値（R5年度末）	目標値（R12年度末）
	15.9%	30.0%
市民一人当たりの年間図書貸し出し冊数	4.3冊	6.0冊
市内在住の個人貸出登録者数	71,744人	82,000人

【継続】

3-2-③	多文化交流センター事業の推進
推進部署	シティプロモーション課
具体的な取組の概要	
在住外国人への生活等に係る情報の提供や相談への対応, 日本語習得や文化交流等の支援をします。 〈実施する事業例〉 多言語情報メールによる防災・生活情報の配信, 相談窓口の設置 等	

【継続】

3-2-④	子育て支援における情報提供の充実
推進部署	子ども支援センターすてっぴ 21 【関係課】 子育て支援課/地域子育て支援センター/保育園/子ども保育課/子ども福祉課/母子保健課
具体的な取組の概要	
親子で安心して遊び, 交流する場を提供するとともに, 子育てについての相談及び子育て中の家庭が必要な情報を入手しやすい環境の整備に努めます。 〈実施する事業例〉 子育て相談, やちよ子育てハンドブックの発行 等	
■成果指標 (計画目標)	
地域子育て支援センターの利用人数	現況値 (R5年度末) 37,649 人 目標値 (R12年度末) 42,259 人

基本目標 4 地域社会と連携した教育への支援

【現状と課題】

○「学校を核とした地域づくり」を目指して、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して行う様々な活動（地域学校協働活動）と「地域とともにある学校づくり」を実現させる仕組みであるコミュニティ・スクール（学校運営協議会を設置した学校）の設置を一体的に推進しています。

○令和5年度末時点で学校運営協議会が設置している学校は、6校、地域学校協働本部が整備されている学校は、9校となっています。

○令和8年度末までに市内全小中学校及び義務教育学校に学校運営協議会を設置し、各学校区に地域学校協働本部を組織化することを目指して取り組んでいます。

^ _____ ^ ^ ++

○地域により抱える課題や活動している個人や団体の状況も様々であることから、地域の現状把握と環境や状況に応じたネットワークの構築とが重要となっています。

○災害時には、多くの学校が避難所となるため、学校と地域が連携した防災体制を充実させていくことが重要です。

○少子化や教員の働き方改革の進展に伴い、「部活動の地域移行」が全国的に検討されています。本市においても地域の受け皿や担い手の確保等の課題が多くあります。

基本方針

4-1 地域社会と連携した教育への支援

- ◆地域と学校が連携・協働する体制を整備し、子どもたちの学びを充実させるとともに地域づくりを推進します。

◎具体的な取組

【継続】

4-1-①	学校運営協議会及び地域学校協働本部の推進		
推進部署	生涯学習振興課		
具体的な取組の概要			
学校運営及び学校への必要な支援に関して協議する機関である「学校運営協議会」の設置及び幅広い地域住民や団体等の参画により形成された緩やかなネットワークである「地域学校協働本部」の組織化を一体的に推進します。 また、整備された学校や組織に対し、継続的に支援します。 〈実施する事業例〉 学校運営協議会の設置・支援等， 地域学校協働本部の整備及び支援等			
■成果指標（計画目標）		現況値（R5年度末）	目標値（R12年度末）
・学校運営協議会が設置されている学校数		6校	市立小・中・義務教育学校
・地域学校協働本部が組織されている学校数		9校	31校（

【継続】

4-1-②	地域の特性に対応した防災訓練の実施
推進部署	危機管理課
具体的な取組の概要	
地域の特性に応じた防災訓練を実施することで、市民の防災知識及び防災行動力を高めるとともに地域防災力の向上を図ります。 市と学校、地域住民の三者が連携した防災訓練を学校において実施し、防災教育の推進を図ります。 〈実施する訓練例〉 地震災害対応訓練，風水害対応訓練　等　※年 70 回を目標に実施	

【新規】

4-1-③	部活動の地域移行の実施
推進部署	保健体育課
具体的な取組の概要	
部活動の地域連携や地域移行を推進し，子どもたちが，将来にわたって文化スポーツ芸術活動に親しむ環境を整備するとともに，子どものニーズに応じた多種多様な活動を体験できる機会の確保を目指します。 〈実施する事業例〉 休日及び平日部活動の地域連携の推進の研究・検討及び推進	